

建設部の方針書

部 名	建設部
部長名	山本 信夫

1. 部の使命(ありたい姿)

安全な社会インフラの整備と適正な維持管理によって、住み続けたいと思えるまちづくりを推進します	
担当政策	政策5:暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
担当施策	5-1:雪国の快適な暮らしの実現 5-2:快適な移動空間の実現 5-4:地域拠点整備による市街地の活性化 5-6:市民がくつろげる公共空間の整備

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老朽化する既存インフラ施設への計画的な取り組み</li> <li>○ 人口減少・高齢化社会における持続可能で魅力的なまちづくりに向けた取り組み</li> <li>○ 地震や大雪、大雨などの自然災害にも簡単にはくじけない、しなやかなまちづくりに向けた取り組み</li> <li>○ 住み続けたいくなる住まいと暮らしづくりに向けた取り組み</li> </ul>
---

3. 今年度の『スローガン』

安全安心で魅力的、持続可能な社会インフラの仕組みを構築しよう
--------------------------------

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理を行う</li> <li>(2) 人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり</li> <li>(3) 未来に向けた住環境の質的向上促進を図る</li> </ul>
---

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理を行う
	取組内容	◇既存インフラの適正な点検・調査及び長寿命化計画策定による安全性・信頼性の確保 ◇住みたくなる安全安心快適な生活環境の確保 ◇冬期における安全で安心な市民生活の確保 ◇市に関連するインフラ事業の実現・促進のための各同盟会・要望活動等の強化
(2)	実現したい成果	人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり
	取組内容	◇魅力あるまちづくりに向けた都市再生整備計画事業の推進と、うるおいのあるまちなみ形成 ◇持続可能でしなやかなまちづくりのための都市基盤整備の推進 ◇まちなか居住の推進に向けた横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業の着実な推進
(3)	実現したい成果	未来に向けた住環境の質的向上促進を図る
	取組内容	◇人口減少の緩和に向け安全安心で快適な住環境対策の促進 ◇市有建築物の適切な維持管理・営繕工事等の実施 ◇住生活基本計画に基づいた住宅確保要配慮者への入居支援

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- ◎安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理を行う
  - ・橋梁点検・幹線道路における路面性状調査などの業務委託、橋梁補修・道路改良・舗装補修等の工事を計画的に発注
  - ・秋田自動車道四車線化促進期成同盟会などの要望活動について、規模を縮小しながらもほぼ予定通り実施した
- ◎人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり
  - ・再開発事業や都市再生整備計画事業における立体駐車場建設工事などについて、計画的に事業進捗が図られている
  - ・三枚橋地区土地区画整理事業の換地処分を実施した。都市公園長寿命化計画の策定作業を進めている
- ◎未来に向けた住環境の質的向上促進を図る
  - ・住宅改修に係る助成事業のPRを行い、着実な施工実績につなげている
  - ・市営住宅に係る改修工事や、老朽化が著しいものの用途廃止、また、指定管理協議など適正な運営が図られている

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- ◎安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理を行う
  - ・橋梁点検を降雪前までに完成させる。また、雨水排水対策のための側溝改良を実施する
  - ・雪対策連絡協議会等を開催し、降雪期への備えを進める
- ◎人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり
  - ・立体駐車場建設工事について工事費の精査を行う。歩道改良工事は再開発事業とのスケジュール調整を進める
  - ・来年度実施の三枚橋区画整理の清算金徴収交付に向け作業を進める。大型公共施設整備に係る事業調整を推進する
- ◎未来に向けた住環境の質的向上促進を図る
  - ・引き続き住宅改修に係る助成事業を推進するとともに、次年度の見直し項目について検討を行う
  - ・市営住宅等の用途廃止に向け、継続して入居者との交渉を行う。また、適正な管理運営のための取り組みを継続する

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- ◎安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理を行う
  - ・道路施設の長寿命化計画を策定するとともに、計画していた橋梁点検・路面性状調査を実施した
  - ・橋梁補修・道路改良・舗装補修等の工事を計画的に発注し完成させたが、一部工事を次年度に繰り越した
  - ・雨水排水対策のための側溝改良工事を旭川地区で実施し、翌年度事業に向け朝日が丘地区で用地測量を行った
  - ・降雪状況に応じた適切な除排雪活動を実施した。また、国に対する財政支援要望活動を行った
  - ・秋田自動車道四車線化促進期成同盟会などの同盟会・要望活動をほぼフルスペックで実施することができた
- ◎人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり
  - ・Y2ぷらざ駐車場への立体駐車場建設工事は、工期延長により完全な仕上がりを図った
  - ・歩道改良・共同溝工事は再開発事業との調整により繰り越し工事となったが、適切な工程管理に努め完成を目指す
  - ・三枚橋地区土地区画整理事業の換地処分を実施した。次年度は清算金徴収交付事務の滞りない実施を目指す
  - ・都市公園長寿命化計画の策定作業を実施した。次年度早々から内外との協議を行い事業推進を図る
  - ・大型公共施設整備事業に係る事業調整の推進を図り、次年度からの着工を可能なものにした
- ◎未来に向けた住環境の質的向上促進を図る
  - ・雪国よこて安全安心住宅普及事業において、145件の建築に対する補助実績があげられた
  - ・次年度においても省エネルギーや断熱化、また耐震改修の建築に係る助成を推進し住生活の質的向上を図る
  - ・市営住宅長寿命化計画に基づき計画的な改修・修繕工事を実施した
  - ・老朽化が著しい市営住宅等の用途廃止に向けて長寿命化計画を見直し、新たに用途廃止を行う団地を定めた
  - ・居住支援協議会を開催し、住宅セーフティネットの構築に向けた各種団体との協議を継続して行う必要性を確認した